

定例会の概要

平成28年第2回定例会は、6月9日から7月1日までの23日間開催されました。
今議会では、各種専決処分事件や補正予算、条例の改正などの議案審議及び9人の議員による一般質問が行われました。

平成27年度 雲仙市一般会計繰越明許費繰越計算書

10億7千6百万円余の事業費を28年度へ繰越

平成27年度 雲仙市一般会計繰越明許費繰越計算書

(単位：千円)

款	項	事業名	最終予算額	翌年度繰越額
1 議会費	1 議会費	会議録作成事業	2,290	600
2 総務費	1 総務管理費	財産管理事務費	21,939	5,991
		自治体情報セキュリティ強化対策事業	88,689	88,689
3 民生費	2 児童福祉費	児童福祉総務事務費	12,247	962
4 衛生費	1 保健衛生費	雲仙エコプロジェクト	18,000	18,000
6 農林水産業費	1 農業費	県営事業地元負担金	191,631	128,717
7 商工費	1 商工費	地域総合整備資金貸付事業	511,000	511,000
		海外宣伝誘致事業	17,889	10,650
		国内誘致事業	12,054	8,750
8 土木費	2 道路橋りょう費	国県道整備事業地元負担金	13,163	3,859
		吾妻高辻線改良事業	32,613	30,129
		吾妻寺ノ前線改良事業	6,911	3,609
		千々石飯岳白新田線改良事業	18,975	16,665
		小浜日見線改良事業	5,000	1,144
	市道単独改良事業	28,000	194	
	4 港湾費	県営港湾施設整備事業負担金	13,439	5,091
	6 住宅費	大規模建築物耐震化事業	52,525	31,985
10 教育費	5 社会教育費	公民館施設整備事業	35,893	21,576
11 災害復旧費	1 農林水産業施設災害復旧費	現年農地等災害復旧事業	45,129	9,290
	2 公共土木施設災害復旧費	道路河川災害復旧単独事業	60,265	3,034
		道路河川災害復旧補助事業	203,752	176,074
合	計		1,391,404	1,076,009

※繰越明許費とは？

国または地方公共団体の歳出予算のうち、その性質上または予算成立後の事由により、対象となる事務または事業が年度内に完了せず、それに伴う支出が年度内に終わらない見込みのあるもので、あらかじめ議会の議決を経て翌年度に繰越し使用できるもの

平成28年 第2回

平成28年度 雲仙市一般会計補正予算

1 庁舎整備事業

内容 改修工事を追加計上

(単位：千円)

補正前予算額	今回補正額	補正後予算額
583,464	11,699	595,163

補正予算額 11,699千円

2 産地パワーアップ事業〔新規〕及び畜産クラスター構築事業

○産地パワーアップ事業内容

- ・馬铃薯選果施設 1棟、 馬铃薯選果機 1式

○畜産クラスター構築事業内容

- ・肥育牛舎 1棟、 繁殖牛舎 1棟、 液卵加工施設 1棟 ほか

(単位：千円)

補正前予算額	今回補正額	補正後予算額
52,625	1,125,311	1,177,936

補正予算額 1,125,311千円

3 熊本地震緊急経営安定化対策事業〔新規〕

内容 長崎県の中小企業向け融資制度のうち、5月23日から3月31日までに借り入れた「緊急資金繰り支援資金」による資金の融資利息及び保証料の一部を助成

補正予算額 7,700千円

平成28年度 雲仙市一般会計補正予算（第2号）案の修正案

総務常任委員会より提出された修正案【可決】

修正案 歳出の総務管理費中、人事管理事務費の307万8千円を全額減額し、それに応じて、歳入も前年度繰越金から307万8千円を減額

修正理由 人事管理事務費と災害対策事務費において、同一内容の予算が二重に計上されているため

※ 委員会審査の状況については、7ページをご覧ください。

議員辞職勧告決議(案)は賛成多数で可決

町田康則議員に対する「議員辞職勧告決議(案)」が雲仙市議会会議規則第14条第1項の規定により、酒井恭二議員より提出され、採決の結果、可決された。

【辞職勧告決議案とは】

長、議長、副議長、議員などの辞職を勧めることを内容とする、議会としての意思を表明する決議のこと。原則として法的効果はなく、辞職勧告決議がされても、勧告に従って辞職する法的義務を負うことはない。

町田康則議員に対する議員辞職勧告決議(案)要旨

町田康則議員は、平成26年11月11日に自動車運転中に死亡事故を起こし、そのことによって、自動車運転死傷行為処罰法違反（過失運転致死）に問われ、長崎地裁島原支部に起訴された。

平成28年6月8日に長崎地裁島原支部において、町田康則被告に対し、判決公判があり、禁錮1年4ヵ月、執行猶予3年の有罪判決を言い渡されました。

裁判官は、町田被告が前方注視義務を怠り、過失は大きいと指摘。また、事故後の対応を含め不適切だったと認めた。一方、反省していることなどを執行猶予を付した理由に挙げた。

町田康則議員は、判決後の取材に、ご遺族の気持ちに寄り添い償っていくと話をされたが、議員辞職は否定されている。

しかしながら、議会議員として自動車運転死傷行為処罰法違反（過失運転致死）により、有罪の判決がされたことは、市民の模範となり、交通法規の遵守に努めなければならない議員の道義的責任は極めて大きなものがあると思われる。

よって、雲仙市議会議員としての矜持（きょうじ）に鑑み、町田康則議員に対し、議員辞職を勧告する。

討 論



◆雲仙市平成28年度一般会計補正予算(第2号)案

修正案を可決

修正案に賛成

平成28年度雲仙市一般会計補正予算(第2号)案は、消防費に職員の防災服購入予算の計上があるが、誤って総務費の中にも重複計上されており、希に見る前代未聞の誤った議案である。

執行部に差し戻したいところだが、補正予算には、農業費やコミュニティ助成事業など市民の仕事・生活に密接したものがあり、本議会にて可決することが市民の負託に応えることだと認識する。

誤った議案を採決すべきでないと考えてるので、誤りが減額された修正案に賛成する。

【坂本 弘樹 議員】

◆動産の買入れ

可 決

反 対 討 論

学校パソコン機器購入に伴う入札過程で、次の3点の疑問点があり反対する。

1点目は、3年目の入札であるが、業者選定の辞退率が3回とも極めて高い。また、応札業者は2~3業者であり、競争原理が働いていない。2点目は、設計金額算定に3回とも特定の業者に見積りを依頼しており、さらに見積り業者を入札に指名している。3点目は、見積りを出した業者のみが応札しており、3回とも同一業者が落札している。特に本年度の落札率はきわめて高い結果となっており、指名競争入札に疑念がある。

【浦川 康二 議員】

賛 否 表

	議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	結 果	表 決 数	渡 辺 勝 美	中 村 好 治	佐 藤 義 隆	林 田 哲 幸	坂 本 弘 樹	酒 井 恭 二	平 野 利 和	浦 川 康 二	大 久 保 信 一	深 堀 善 彰	上 田 篤	町 田 康 則	松 尾 文 昭	森 山 繁 一	前 川 治	小 畑 吉 時	元 村 康 一	井 上 武 久	小 田 孝 明	町 田 誠
町田康則議員に対する議員辞職勧告決議案について	可決	14:3	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度雲仙市一般会計補正予算(第2号)案について 【総務常任委員会提出の修正案】	可決	20:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
動産の買入れについて	可決	18:2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○賛成 ●反対 -棄権

平成28年第2回雲仙市議会定例会 議決結果

議案番号	事 件 名	議決結果
議案 第26号	平成28年度雲仙市一般会計補正予算（第1号）案について	原案可決
議案 第27号	固定資産評価員の選任について	原案可決
発議 第2号	町田康則議員に対する議員辞職勧告決議案について	原案可決
発議 第3号	千々石農産物直売所に関する調査特別委員会の設置について	原案可決
議案 第28号	専決処分した事件の承認について（平成27年度雲仙市一般会計補正予算（第6号））	承認
議案 第29号	専決処分した事件の承認について（平成27年度雲仙市国民健康保険特別会計補正予算（第2号））	承認
議案 第30号	専決処分した事件の承認について（平成27年度雲仙市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号））	承認
議案 第31号	専決処分した事件の承認について（平成27年度雲仙市簡易水道事業特別会計補正予算（第4号））	承認
議案 第32号	専決処分した事件の承認について（平成27年度雲仙市下水道事業特別会計補正予算（第4号））	承認
議案 第33号	専決処分した事件の承認について（平成27年度雲仙市国民宿舎事業特別会計補正予算（第4号））	承認
議案 第34号	専決処分した事件の承認について（平成27年度雲仙市温泉浴場事業特別会計補正予算（第2号））	承認
議案 第35号	雲仙市税条例等の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第36号	雲仙市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第37号	雲仙市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第38号	雲仙市公共下水道条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第39号	平成28年度雲仙市一般会計補正予算（第2号）案について	修正可決
議案 第40号	平成28年度雲仙市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）案について	原案可決
議案 第41号	平成28年度雲仙市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）案について	原案可決
議案 第42号	平成28年度雲仙市下水道事業特別会計補正予算（第1号）案について	原案可決
議案 第43号	平成28年度雲仙市国民宿舎事業特別会計補正予算（第1号）案について	原案可決
議案 第44号	平成28年度雲仙市水道事業会計補正予算（第1号）案について	原案可決
議案 第45号	動産の買入れについて	原案可決
議案 第46号	動産の買入れについて	原案可決
議案 第47号	市道路線の廃止について	原案可決
議案 第48号	市道路線の認定について	原案可決
発議 第4号	議会活性化特別委員会の設置について	原案可決

常任委員会報告

付託案件	審議結果
専決処分した事件の承認（平成27年度雲仙市一般会計補正予算（第6号））	承認
雲仙市税条例等の一部を改正する条例	原案可決
平成28年度 雲仙市一般会計補正予算（第2号）案	修正可決

本委員会に付託された左記の案件について、承認1件、原案可決1件、修正可決1件と決しました。
主な案件の質疑等の内容は次のとおりです。

専決処分した事件の承認（平成27年度雲仙市一般会計補正予算（第6号））

質疑 市税の滞納整理が進んでいるようだが、その取り組み及び滞納処分のための搜索はどれくらい行ったのか、定期的に行っているのか。
答弁 平成27年度から搜索を開始し、15件執行した。その他、差し押さえの強化も行った。搜索は、今後も定期的に行っていきたい。

雲仙市税条例等の一部を改正する条例
質疑 発電設備ごとに課税標準が異なる理由は。
答弁 現在、県を通じて国に確認をしているが、風力発電と太陽光発電に比べて、地熱発電・バイオマス発電・水力発電が優遇されるのは、普及が少なく、コストが高いためと思われる。

平成28年度雲仙市一般会計補正予算（第2号）案
冒頭、執行部より同じ内容の予算を二重に計上したことへのお詫びと、誤って二重計上した

予算の執行停止及び次回補正予算において減額補正をさせていたいただきたいとの説明があった。
質疑 予算作成時のチェック体制はどうなっているのか。
答弁 今回は、減額ミスと確認ミスが重なったものである。今後は、担当部局での確認を徹底し、チェックを十分に行っていく。

質疑 コミュニティ助成事業の採択はどのように決めるのか。誰が決めるのか。申請書は市で選別して県へ申請しているのか。
答弁 県や自治総合センターが内容を見て採択することとなっている。申請があった分は、すべて県へ進達している。

質疑 総合的に見ると、国見総合支所と国見農村環境改善センターの合築がベターなのではないか。
答弁 平成25年度当時はそうであったが、住民の利用と支所としての使用が相容れないものがあり、国見総合支所単独で建設をする方針へ変更した。

質疑 今回の熊本地震により、災害発生時の避難所であり市民にとって中央公民館的な施設でもある国見農村環境改善センターが使用できなくなった。公共施設の整備について、災害対策を踏まえて検討すべきではないか。
答弁 今後、公共施設等総合管理計画の検討委員会で検討すべき課題のひとつと考えている。

質疑 庁舎整備に対する市の基本方針は。
答弁 既存庁舎を最大限に活用するのが基本理念である。これは変わらない。活用できる施設は活用することを基本方針として臨んでいく。

意見 市の基本方針を100%貫くことは有り得ないことは理解しているが、通常の場合は、市の基本方針を貫いて欲しい。
修正案提出 人事管理事務費、災害対策事務費において、同一内容の予算が二重に計上されていること理由から、減額する修正案が提出された。

1目に計上されている総務管理費中、人事管理事務費の307万8千円を全額減額し、それに応じて、歳入も19款1項1目の前年度繰越金から307万8千円を減額するものである。
修正案賛成討論 執行部の説明では、執行停止を確約し、第3回補正にて減額という説明であったが、議案が誤りと分かっている以上修正して正式に賛成するのが筋と考える。

原案反対討論 国見総合支所建設にかかる補正は、当初予算の約1.5倍の2億1478万4千円に膨れ上がる補正額、これは計画、見積り甘さ以外何ものでもない。そうでなければ、意図的に当初予算を抑え、当初予算が通れば増額補正も簡単に認められると思われたのではないかと考えられる。
採決 賛成多数により修正案のとおり可決すべきものと決定した。なお、修正可決した部分を除いた部分については、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定した。

総務

付 託 案 件	審議結果
専決処分した事件の承認（平成27年度一般会計補正予算（第6号））ほか3件	承 認
平成28年度一般会計補正予算（第2号）案	原案可決
動産の買入れ ほか4件	原案可決

本委員会に付託された左記の案件について、承認4件、原案可決6件と決定しました。主な案件の質疑内容は次のとおりです。

現地調査を実施

雲仙市内の「木指小学校」と「千々石第二小学校」の現地調査を行いました。



現地調査 千々石第二小学校

この2校は、本市の小学校の中でも児童数が13名と15名と最も少なく、完全複式学級編制の小学校であり、学校の状況を各校長から説明を受け、実際に複式授業の状況等を視察致しました。

両校とも、隣接小学校と合同学習や修学旅行等を実施し、子どもたちの教育活動に差が生じないよう、努力されておりました。

文教厚生

動産の買入れ

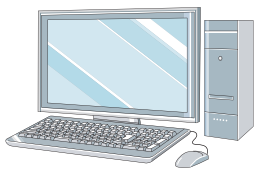
本事業は、平成26年度から5年間継続して、小中学校パソコン等の機器を導入するものです。

質疑 予算を作成するために、参考見積りの依頼を行った業者が3業者であるが、応札を行った業者は今年度2業者となつている。この2業者は3年間参考見積りを提出している業者でもある。このような状態が3年間も続いている。参考見積り依頼が来なかった業者は、参考見積りを徴取した業者を知っている可能性があり、応札しにくいと判断して辞退しているのではないのか。このような状態を不思議とは思わないのか。

答弁 入札の結果であり、不思議とは思っていない。入札執行通知書を送付する場合には、仕様書、数量計算書等と同じ条件で送付しており、公平性は保たれていると判断している。

質疑 入札は適正に実施されているのであろうが、一般的に見て3年間とも同じ業者に参考見積りを依頼し、その同一業者が落札しているのはどう見てもおかしいのではないのかと言うのが委員共通の考えである。このため、今後の入札をどのように変えて行くのが先決であると思うが、どのように考えているのか。

答弁 参考見積りの徴取については、市の予算編成方針に従って徴取しているものであるが、中身については精査するようになっており、精査しない場合には公正な競争が阻害されることにも繋がるため、検証すべきところは再度検証して、市民にも理解される公正な入札が執行できるように取り組んで行かなければならないと考えている。



反対討論 動産の買入れの予算計上時に徴取された参考見積りが、予算化されているが、その参考見積りを提出した業者が入札に指名されており、その同一業者が落札していることに不信感がある。このために反対する。

賛成討論 動産の買入れについての執行にあたっては、間違いは無いものと思うが、議員や市民の不信や疑念を招くような入札となつているので、付帯決議を付して可決すべきである。

委員会としては、全会一致で付帯決議を付して、可決することを決定した。

付帯決議 入札執行については、本来の入札の目的・趣旨に沿った透明性・公平性・競争性が発揮出来るように十分検討し、議会や市民に不信感や疑念を持たせないよう対処すること。

常任委員会報告

付託案件	審議結果
専決処分した事件の承認 (平成27年度一般会計補正予算(第6号)) ほか3件	承認
平成28年度一般会計補正予算(第2号)案 ほか4件	原案可決
雲仙市公共下水道条例の一部を改正する条例	原案可決
市道路線の廃止 ほか1件	原案可決

本委員会に付託された左記の案件について、承認4件、原案可決8件と決定しました。主な内容は次のとおりです。

専決処分した事件の承認(平成27年度一般会計補正予算(第6号))

質疑 農地流動化奨励事業補助金返還金の主な理由は何か。
答弁 農地中間管理機構への移行に伴う中途解約によるものが約7割を占め、主な返還理由となっている。

意見 市道吾妻高辻線改良事業において、市役所前国道交差点は複雑で渋滞するため、早期の完成に努めてもらいたい。また、吾妻寺ノ前線改良事業は、三貴工業内の代替道路工事として以前から地域の方が望んでいる事業である。用地交渉を強化し、早期の工事着手に移行できるように努めてもらいたい。

専決処分した事件の承認(平成27年度下水道事業特別会計補正予算(第4号))

質疑 雲仙地区下水道使用料において、収入が減額となった理由は何か。

答弁 大口事業所の滞納に伴った収納率低下のためである。
意見 分納方式等の処置を講じ、滞納額を減少させてもらいたい。

質疑 農業集落排水使用料において、収入が増額した理由は何か。

答弁 接続件数実績が見込みを上回ったためである。
意見 今後更に収入増加に繋がるとの推進を図ってもらいたい。

雲仙市公共下水道条例の一部を改正する条例

質疑 下水道の排出基準の一部改正に伴い、雲仙市で影響を受ける事例が発生するのか。

答弁 1日あたり50立方メートル以上の排水を下水道に排出する際の法適用であるため、現在、事例はないが、将来的に大きな事業所等が建設され、下水道へ接続した際は、事例が発生する可能性がある。

平成28年度一般会計補正予算(第2号)案

質疑 畜産クラスター構築事業において、地域クラスター協議会の組織化を地区や町単位でま

とめるなど模索し、市内全域の畜産農家が平等に補助を受けられるように取り組めないのか。

答弁 いろいろな畜種及び経営状況等を加味しながら内部的に協議を行ってきたが、一本化は難しい。

意見 各地域クラスター協議会については、組織等により構成員の状況及び補助金の流れを明確にし、説明責任が果たせるようにすべきである。

平成28年度国民宿舎事業特別会計補正予算(第1号)案

質疑 宿泊料収入において、熊本地震に伴うキャンセルはどれくらいあるのか。

答弁 4月、5月に予約があった全体数1171人のうち298人のキャンセルがあり、25.4%のキャンセル率である。

現地調査を実施

今回の議案に関連する3箇所と議案外の2箇所の現地調査を実施した。

特に平成28年度補正予算に計

上された事業については、円滑な事業の遂行並びに事業効果が最大限発揮されるよう対応を望む。



千々石町「千千石漁港」



南申山町「JA島原雲仙馬鈴薯選果場」

市政を問う

9名の議員が一般質問



浦川 康二…P10

小畑 吉時…P11

中村 好治…P11

平野 利和…P12

林田 哲幸…P12

佐藤 義隆…P13

坂本 弘樹…P13

上田 篤…P14

小田 孝明…P14

一般質問は、質問者自身が議事録をもとに原稿を作成しています。

公有財産の適切な管理

浦川議員 指定管理者とは、公の施設の管理を行わせることができるかと定めてある施設と理解している。

秋山部長 指定管理者の自主事業の施設であり、管理する施設と理解している。

浦川議員 指定管理者は公の施設の管理運営を行うが、公有地内の個人施設も、指定管理者の管理する施設に該当するののか。

浦川議員 指定管理者は募集要領・仕様書を遵守すべきであるが、千々石直売所看板の改装及び名称が変更になっている。市は許可したののか。



うらかわ やすじ 浦川 康二 議員

指定管理者とは

浦川議員 指定管理者は募集要領・仕様書を遵守すべきであるが、千々石直売所看板の改装及び名称が変更になっている。市は許可したののか。

秋山部長 看板は正式な申請手続きを行っていない。直売所の名称は市が許可した。

浦川議員 指定管理者は公の施設の管理運営を行うが、公有地内の個人施設も、指定管理者の管理する施設に該当するののか。

浦川議員 指定管理者は募集要領・仕様書を遵守すべきであるが、千々石直売所看板の改装及び名称が変更になっている。市は許可したののか。

浦川議員 指定管理者は募集要領・仕様書を遵守すべきであるが、千々石直売所看板の改装及び名称が変更になっている。市は許可したののか。

行政財産の適正な使用は

行政財産の適正な使用は、個人財産の施設の管理は定められていない。

浦川議員 指定管理者は募集要領・仕様書を遵守すべきであるが、千々石直売所看板の改装及び名称が変更になっている。市は許可したののか。

酒井副市長 直売所の管理運営規則の原形変更承認の手続きであると考えている。

浦川議員 指定管理者は募集要領・仕様書を遵守すべきであるが、千々石直売所看板の改装及び名称が変更になっている。市は許可したののか。

浦川議員 指定管理者は募集要領・仕様書を遵守すべきであるが、千々石直売所看板の改装及び名称が変更になっている。市は許可したののか。

浦川議員 指定管理者は募集要領・仕様書を遵守すべきであるが、千々石直売所看板の改装及び名称が変更になっている。市は許可したののか。

熊本地震への市の対応



おばた よしとき
小畑 吉時 議員

被災地への救援物資は

小畑議員 熊本地震被災地への救援物資搬送が遅れた理由、原因は何か。

金澤市長 本市においては早急に災害警戒本部を設置し、市内の被害状況の把握に努めるとともに、自主避難者への対応など市民の安全確保を第一に対応した。一定の安全確認ができた後、被災地へ飲料水・毛布の提供を決定し、発送した。

山本市民生活部長 今後、市内の防災体制とあわせて、被災地への救援体制を強化し、迅速な対応に努めていきたい。

小畑議員 市長の進言をもらう前に自分の考えで動く部

長であってほしい。今回、被災地に一番近い港を持ちながら、対応が遅れたのが非常に残念でならない。

市が受け付けた救援物資の種類が限定された理由は。

松田健康福祉部長 被災自治体から九州市長会のほうへ要望された内容や東日本大震災時の募集内容を参考に7品目、必要最小限という形で選定した。

避難場所の見直し

小畑議員 避難場所となっている国見農村環境改善センターの耐震化は行われているか。

山本部長 新しい建築基準法に基づく耐震化は行われていない。

小畑議員 熊本震災を機に避難場所等の見直しを行ってはどうか。

金澤市長 改めて研究をしていきたい。

雲仙市の将来計画は



なかむら こうじ
中村 好治 議員

総合計画の取り組み

中村議員 市では今年度、第2次総合計画の策定に取り組んでいるが、どのような効果的な手法で施策を実行し、進めるのか。

金澤市長 基本計画に定めた各分野の施策を実現するために、3年間に実施する事業内容を計画して対応する。

中村議員 自然と共存のまちづくりで森林関係の事業については。

秋山産業部長 年間25haの森林整備を行うが、木材市場に出荷できる木材とできない木材があり、現地を確認して指定している。

中村議員 木材市場に出荷できない木材はどつするのか。

広瀬環境水道部長 出荷できない木材についてはバイオマス発電等の計画を瑞穂温泉千年の湯を対象に検討している。

中村議員 第1次産業である農業の雇用に対する効果的な計画はないのか。

秋山部長 労力の確保については現在J.Aも農援隊の事業をやっているが、市独自にシルバー人材センターと連携を取って取り組んでいる。

中期財政計画は

中村議員 今年度、財政計画の策定に取り組んでいると思うが、総合計画との効果的推進は考えているのか。

大山総務部長 可能な限り事業内容を精査し反映させている。



雲仙市の防災対策は



ひらの としかず
平野 利和 議員

熊本地震の教訓は

平野議員

私も地震直後の

18日現地に行き地元の状態を調査して来た。そこで支援の手が行き届いていない現状を聞き、雲仙市もそのような事がないように対策をしておかなければならないと感じた。指定避難所と自分で避難をしている人との差。支援物資が貰える人と貰えない人との差。このようなことがおこらないように対策をしておくべきだ。

金澤市長

地震や台風などの災害には市民の安全を確保する為、現雲仙市防災計画の見直しや、物流在庫管理などの専門的ノウハウを持った民間事業所と連携をし、被災時

に適切かつ迅速な対応が必要だ。

平野議員

地元神代地区の

避難所は、低いところが指定避難所になっている。「なぜ低いところへ避難しないといけないのか」と苦情を聞くので、検討を求める。

選挙の投票率向上を

平野議員

投票率を向上させないといけないのに、雲仙市は投票所が削られて投票がしにくくなった。他の自治体はスーパーなどで投票ができるようになってきている。もっと市民のことを考えて投票しやすくすべきだ。

進藤選挙管理委員長

投票

率向上に向けて他市の状況を参考に、適切な投票所設置について調査研究をする。



公共施設の統廃合は



はやし たつゆき
林田 哲幸 議員

公共施設の在り方は

林田議員

4月14日からの

地震で、市内でも複数の公共施設に被害がでてきているようだが、その被害状況は。

金澤市長

被害に遭った公

共施設は25施設で、主な被害として、壁のクラックや石垣の崩落等である。そのうち国見農村環境改善センターの天井の一部落下等により、大集会室及び2階和室の利用を中止している。

林田議員

今後人口減少に伴い、使われなくなる施設、使う頻度が減ってくる施設が出てくるが、施設の統廃合はどのように考えるか。

金澤市長

現在策定中の公

共施設等総合管理計画の中で、人口減少に伴う利用頻度

の減少についても考慮することとしている。この成果を基本に次年度以降に策定する各施設の個別計画において、類似施設との調整を図り、市民の意見を聞いたうえで施設の統廃合を進めていきたい。

震災後の観光業への支援策は

林田議員

国・県の予算で

行われる九州観光支援旅行券に合せて市として特別なものが用意できないか。

秋山産業部長

市としての

特別な対応等は準備していないが、県が造成支援を行う割引付き旅行券、旅行商品、これを最大限に活用するとともに、現在取り組んでいる各種活動も、地元の観光協会とタイアップをし、また島原半島3市一体となって積極的な情報発信を行い、誘客につなげていきたい。

伊東観光物産課長

観光振

興補助金を使ったPRやイベント経費に対する支援等をしっかりとやっていきたい。

職員統一の作業服は



さとう よしたか
佐藤 義隆 議員

作業服の作成は

佐藤議員 職員の作業服作成の件については、今回で4回目の質問になる。今後の取り組みは。

金澤市長 これまでの質問を受けて、職員の作業服を統一することについてのアンケート調査を実施した。調査の結果、作業服の購入を希望する者が少数であった為、作成を見送っているが、再度、アンケートの実施を含めて、内容を研究したい。

佐藤議員 作業服を持たない職員が多いと思われるが、斡旋の考えはないのか。

大山総務部長 これまでも防災及び災害発生時の迅速な対応を計るために、統一し

た作業服が必要ではないのかとの意見を踏まえて、今度、発生した熊本地震等の災害状況も若干加味し、全職員に防災服を貸与するため、補正予算を計上した。

学校体育館のどん帳の名称変更は

佐藤議員 市になって、いまだに旧町のままの名称となっているが、改修の考えは。

山本教育次長 議員が指摘のとおり市内27小中学校のうち、4校の体育館どん帳が旧町立学校の名称表示のままとなっている。教育委員会としても改修の必要性は充分に認識しており、今後、予算化を図りながら取り組みたい。

他の質問

- ・愛野運動公園遊具広場の拡充は
- ・防災計画は
- ・業務継続計画（BCP）は

農業用ため池の耐震は



さかもと ひろき
坂本 弘樹 議員

農業用ため池の耐震は

坂本議員 市内に多くの農業用ため池がある。その耐震は。

金澤市長 別所ダムを含め52ヶ所の農業用ため池がある。震度4以上で6ヶ所、震度5弱でさらに13ヶ所の合計19ヶ所が地震発生直後に緊急



大久保ため池

点検を実施する。今回の熊本地震直後、緊急点検を、夜が明けた時点で詳細点検を実施し被害がないことを確認した。

秋山産業部長

農業用ため池のうち、下流域の人家等への影響があるもので、堤防の高さが10m以上または貯水量10万m以上のため池16ヶ所を警戒ため池に位置づけ、緊急時の連絡体制の整備やハザードマップを地域住民に配布し注意喚起に取り組んでいる。

今後の整備は、東日本大震災後、一斉点検を実施し、整備の必要があるとされた9ヶ所について、県により基本計画・整備計画が策定され、今後、予算措置及び対策工事が行われる予定。早期完成に向けて要望活動を行う。

市外在住職員からのふるさと納税を

坂本議員 雲仙市以外に住所を有する職員の皆様に、できる限りの雲仙市に対するふるさと納税をお願いしたい。

土砂の流失で田に被害



うえだ あつし
上田 篤 議員

市が責任を持ち対策を

上田議員 瑞穂町にある夏峰土石埋立処分場の土砂の流失問題は把握しているか。

岸川地域振興部長 総合支所が立ち会い等も行っている。

上田議員 関係者は約10人、関係する面積は3〜4haだ。3年ほど前から大雨が降ると土砂が田に流れ込み、稲の収穫が減少し、食味も悪くなったという話を聞いた。

小島瑞穂総合支所長 小さい事故は前もあったが、今回の（流失）は大きなものだ。

上田議員 この処分場の検査、指導、定期的な視察などはしていたのか。

広瀬環境水道部長 平成10年ごろから埋め立てが始まっ



夏峰土石埋立処分場の遠景

たが、定期的な確認はしていなかった。

上田議員 協定書には、第8条2項「乙（業者）は、雨水・汚水・下水等の処理については、自己の費用負担において、排水路・汚水管・浄化槽等必要な施設を設けるなどして、周辺の環境衛生に悪影響が及ぼすことがないよう万全を期するものとする」。第9条2項「乙は、防災及び濁水防止に係る工事を他の全ての工事に先立って行わなければならない」とある。これらをしつかり守らせるべきだ。

熊本地震を教訓に



おだ こうめい
小田 孝明 議員

熊本地震を防災に生かす

小田議員 地震翌日、学校に登校した児童生徒への対応は。

山本教育次長 前震翌日の4月15日午前9時までに市内27校の全児童生徒を確認した。16日未明の本震の当日は週休日であり、校長会を通じて全学校の状況を把握した。

地震の揺れの恐怖感や睡眠不足などから4名が15日〜18日の間、登校できなかつたが、現在、保護者や教職員のケアで登校できている。

小田議員 5年前の3月11日午後2時46分東日本大地震が発生した。岩手県釜石市内の児童生徒が恐怖感のなか、1名の死者もなく避難できた

という。このことはすばらしい事である。

今度の熊本地震を体験した児童生徒にどう生かすのか。

山野教育長 地震に対する避難訓練を一週間以内に実施するよう指示した。確実な避難訓練を適切に行うこと。学校全体で防災意識を高めていくこと。この2点を重点に防災教育を充実したい。

小田議員 東日本大震災後、市町村においては仮設住宅の建設予定地を確保することになっていないか。

山本市民生活部長 災害対策基本法の改正で確保することになっている。用地の選定はしていない。今後、用地の確保に努めたい。



熊本地震による家屋の被害状況

全国市議会議長会表彰



(写真左より)

酒井 議員
元村 議員
井上 議員
町田 副議長
小田 議員
深堀 議員

平成28年5月31日に東京で開催された全国市議会議長会第92回定期総会において、長年にわたり地方自治の発展と振興に貢献した功績により6名が表彰を受け、定例会の開会日に議場において、表彰状の伝達が行われました。

- 町田 誠 副議長 (議員15年以上)
- 井上 武久 議員 (議員15年以上)
- 小田 孝明 議員 (議員10年以上)
- 元村 康一 議員 (議員10年以上)
- 深堀 善彰 議員 (議員10年以上)
- 酒井 恭二 議員 (議員10年以上)

※勤続年数については、町議会議員の年数を2分の1加算しています。

研修報告

議会広報編集特別委員会行政調査



5月19～20日、(株)ぎじろくセンター（山口県宇部市）、福岡県古賀市議会へ行政調査で訪問しました。

○(株)ぎじろくセンター

会議録調整業務委託会社の概要及び事業内容の行政調査を行いました。反訳作業等の実演を目の当たりにし、議場等では明確な発言が大切であると痛感しました。

○福岡県古賀市議会

議会だよりの編集、発行に関する行政調査を行いました。市民にわかりやすい広報誌を目指し、日々スキルアップに精進されており、活発な意見交換会を行うことができました。

議会運営委員会行政調査



5月17～19日、定例会等の議会運営について、熊本県人吉市議会と大分県臼杵市議会を行政調査で訪問しました。

両市議会ともに各常任委員会で所管の関係団体との意見交換会を実施されており、本市議会においても大変参考になる調査となりました。

また、本調査に併せて、日田市にある木質バイオマス発電の施設の研修も行いました。本施設は地元の間伐材や商品価値の少ない木材を燃料として発電している施設であり、地域に適した発電方法であると感じました。

議会のうごき

4月29日（金）

被災地の復興を願い見舞金を届けました

雲仙市議会では、熊本地震の被災者支援のため、議員一同で30万円の見舞金を送ることを決定し、代表して大久保議長が澤田熊本市議会議長へ届けました。

大久保議長が被災者へのお見舞い、亡くなられた方への弔意を述べると、澤田議長は感謝の言葉を述べられ、現状等について語られました。

その後、熊本県内の被災地の状況を視察しました。



5月10日（火）

石川県加賀市議会行政調査受入

「教育民生委員会」の皆様が雲仙市子どものいじめの防止条例について、行政調査のために来庁され、深堀総務常任委員長が対応しました。

加賀市において、条例制定を検討課題とされているとのことで、制定までの経緯と概要について活発な意見交換がなされました。

5月20日（金）

平成28年度 雲仙市商工会通常総代会

平成28年度雲仙市商工会の通常総代会が国見町の料亭藤本で開催され、大久保議長が出席しました。総代会では、全ての議案が原案可決されました。

また、総代会終了後には、里見長崎県副知事による講演も開催され、総代の皆様は真剣に拝聴されていました。今後とも、雲仙市商工会会員皆様の益々のご活躍をご祈念致します。



6月30日（木）

平成28年度 雲仙市老人クラブスポーツ交流大会

平成28年度雲仙市高齢者スポーツ大会が雲仙市吾妻体育館で開催され、大久保議長、平野文教厚生常任委員会副委員長が出席しました。

高齢者の皆さんが「玉運び」や「的入れ」、「輪くぐり」など9種目で競い合い、元気よく大会を楽しまれました。

参加された皆様の今後益々のご健康とご長寿をお祈り申し上げます。

千々石農産物直売所に関する 調査特別委員会の設置

・名称 千々石農産物直売所に関する調査特別委員会

・設置目的

雲仙市が千々石農産物直売所を市内の法人に指定管理を行っているが、市の許可を受けた法人が、自主事業として施設内に建物を建設し事業を行っている。

これまで、産業建設常任委員会協議会や全員協議会を開催し、市の許可の経緯等を検証してきたが、理事者側からは納得できる説明はあっておらず、所管である産業建設常任委員会だけの解決も困難であるため、本施設の指定管理等に関する調査を行う特別委員会を設置する。

・委員定数 20人（議長を除く全議員）

委員長：町田 誠議員 副委員長：酒井恭二議員

・期間 平成28年6月20日から調査終了まで

議会活性化特別委員会の設置

【議会活性化特別委員会】

委員長 松尾 文昭

副委員長 小田 孝明

委員 浦川 康二

委員 平野 利和

委員 酒井 恭二

委員 坂本 弘樹

委員 林田 哲幸

委員 佐藤 義隆

委員 中村 好治

平成28年7月1日の本会議において、議会活性化特別委員会が設置され、左記の9名が委員に選任されました。

今後、議員定数をはじめ、議会活性化に関するさまざまな事項について、調査・研究を行います。



平成27年度 政務活動費収支報告集計結果

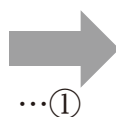
◆ 政務活動費とは？

議員の政務活動に必要な経費の一部として、会派または議員に対して交付されるものです。雲仙市では、一人当たり月額15,000円〔年額180,000円（半期90,000円）〕が交付されます。支出については、領収書等が必要となります。

○ 補助金交付額：15,000円×12月×19名＝3,420,000円

※2名は申請なし

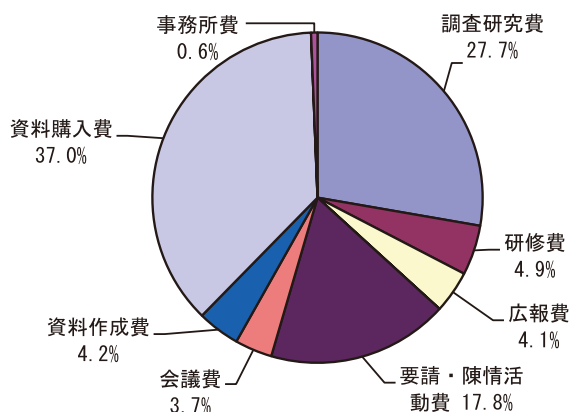
内訳	金額
補助金交付額	3,420,000円
補助金返還額	253,053円
補助金実績額	3,166,947円



【返還額内訳】返還者5名		
■5万円未満	3名	計 65,946円
■5万円以上	2名	計187,107円

○ 収支報告集計結果

科目	金額	主な支出項目
調査研究費	969,708	政務活動時旅費、行政調査時旅費、携帯電話代、固定電話代、インターネット利用料
研修費	170,980	政務活動時旅費、研修会参加経費
広報費	145,020	報告会時経費、活動報告書印刷・新聞折込料
広聴費	0	
要請・陳情活動費	620,904	要望活動時旅費等
会議費	127,800	政務活動時旅費、会議参加時経費
資料作成費	145,613	消耗品費、名刺代
資料購入費	1,295,148	新聞購読料、書籍購入費
人件費	0	
事務所費	21,864	FAXインク代
合計	3,497,037	…②



【注意】

補助実績額①（3,166,947円）と収支報告集計結果の合計額②（3,497,037円）が同額とならないのは、議員1人当りの補助金上限額が18万円となるためです。よって、収支報告集計結果の合計額②の方が大きくなります。

※領収書等の閲覧は、情報公開請求書を提出することにより、閲覧できます。

市民の声



(内容は一部抜粋を掲載しています。)

(吾妻町 岩永 好博さん)

- 委員会で誰が反対・賛成したのかわからない。議員の名前をはっきり書くべし。

回答 現在、議案ごとに反対討論があった場合、本会議で採決をとり賛否一覧表にて反対、賛成の議員が分かるよう掲載しております。

委員会での反対・賛成議員の名前表示は考えておりません。

- 医療・介護の詳細な議論もお願いします。

回答 議会の立場からご期待に応えられるよう努力します。

(小浜町 宮田 隆さん)

- 議会放映の高画質が3市で最高です。議員さんの勉強ぶりが意欲十分に見えます。もっと易しい表現に御留意ください。

回答 これまでも分かりやすい表現を心がけてはいますが、更に努力してまいります。

- 議会活動、各議員報告を。

回答 現在、手段の違いや差異はありますが、議員ごとに市民へ活動報告を実施しております。

今後、市議会として、どのような形で市民との意見交換ができるのか検討してまいります。

- 各質問時間の10～15分の休憩は、何の意味があるのですか。

回答 質問が多岐に渡るため、答弁する側の課長等が代わってくるため、休憩をいれています。

(小浜町 川村 公良さん)

- 今、まさに教室にも行けない子が市内にもいます。少しでも早く復帰できるよう議員さんたちにも協力をお願いします。

回答 議会の立場からご期待に応えられるよう努力します。

議会へのご意見・ご感想をお寄せください！



問1 「議会だより」を読まれての感想や、お気づきの点などあればお書きください。

問2 議会への意見や質問などお寄せください。

ご協力ありがとうございました。

雲仙市議会では、市民の皆様から広くご意見を伺うため、議会だよりに返信用ハガキを掲載しています。

議会だよりに読まれての感想や議会に対するご意見等をご記入の上、ご送付ください。(お手数ですが、52円切手をお貼りください)

いただいたご意見等は、議会だよりに掲載する場合がありますので、ご了承ください。

議会を傍聴してみませんか？

平成28年第3回雲仙市議会定例会の会期日程（案）は
9月1日（木）～9月30日（金）です

- 一般質問 9月 5日（月）～8日（木）
- 議案質疑 9月12日（月）
- 委員会

産業建設常任委員会	9月13日（火）・14日（水）・15日（木）
文教厚生常任委員会	9月15日（木）・16日（金）・20日（火）
総務常任委員会	9月20日（火）・21日（水）・23日（金）

※一般質問の日程は、質問者数などにより変わることもあります。
 ※簡単な手続きで傍聴できますので、議場へ足をお運びください。

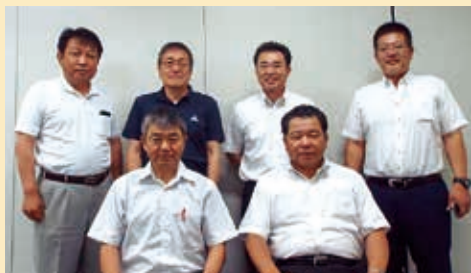
編集後記

熊本地震後、初の議会であり一般質問者9名の全員が地震対策・防災対策の質問でありました。

会期中の6月20日には大雨による避難勧告が発令され、人的被害はなかったものの、土砂災害、通行止め等市民生活に支障をきたしました。

梅雨が明け、今年の夏は例年より暑くなる予報です。体調管理に十分注意して夏を乗り切ってまいりましょう。

（坂本 弘樹）



議会広報編集特別委員会

委員長 佐藤義隆
 副委員長 上田 篤
 委員 坂本弘樹、林田哲幸
 中村好治、渡辺勝美

郵便はがき

8 5 9 1 1 0 7

お手数ですが
 52円切手をお貼り下さい

長崎県雲仙市吾妻町牛口名714番地

雲仙市役所 議会事務局
 「議会広報編集特別委員会」 行

（議会だより48号）

ふりがな
 ご氏名

ご住所

電話番号()-()-()